



設定ソフト取扱説明書

音声セキュリティシステム

VS-900

このたびは、TOA 音声セキュリティシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの設定ソフト取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA 株式会社

目次

はじめに

動作環境	4
インストールのしかた	4
終了と起動のしかた	4
アンインストール（削除）のしかた	5

プログラムの実行と終了

プログラムの実行

パスワード入力	5
パスワードの変更	6
メイン画面	7
プログラムの終了	7

データの保存と読み込み

データの保存	8
上書き保存	8
ファイルを開く	9
新しいデータを作成する	9

印刷

印刷	10
----------	----

ヘルプ

バージョン情報	11
---------------	----

データの設定

システム設定

システム設定	12
--------------	----

回線設定

ステーション設定	14
----------------	----

局線設定	18
------------	----

機能設定

グループ呼び出し設定	20
転送／時間制限設定	22
スキャンモニター設定	24
ページング設定	26
緊急会議設定	30
ダイレクトセレクト設定	32
その他	
リモートダイヤル	33
履歴データ	34
通信モニター	36
交換機とのデータ送受信	38

設定データ印刷	40
PC ポート設定	41
VS-900DIJ 設定	
ダイレクトセレクトダイヤル設定	43
データ範囲と初期値	
システム設定	45
回線設定	45
機能設定	47
その他	48
VS-900DIJ 設定	48
メッセージ	
確認メッセージ	49
設定エラーメッセージ	49

はじめに

本プログラム（VS900.EXE）は VS-900 システムの設定をするソフトウェアです。

■ 動作環境

OS	: Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 Service Pack 5
CPU	: Pentium® II、200 MHz 以上
メモリー	: 64 Mbyte 以上
ハードディスク	: 空き容量 50 Mbyte 以上
モニター	: 14.1 インチ以上
解像度	: 800 × 600 ピクセル、256 色以上
その他	: RS-232C ポート、3.5 インチ FDD

※ Pentium は、Intel Corporation の商標です。

※ Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の商標です。

※ その他の会社名および製品名も各社の商標です。

■ インストールのしかた

- 1 インストールを開始する前に、他のすべてのアプリケーション、常駐プログラムなどを終了させる。

メ モ

実行中のアプリケーションがあると、インストールが正常に行われない可能性があります。

- 2 1 枚目のセットアップディスクをセットする。
- 3 タスクバーの [スタート] ボタンを押し、[ファイル名を指定して実行] を選択する。
- 4 名前の欄に「a:setup」と入力して「Enter」キーを押す。
- 5 インストーラーの指示に従って、インストールする。

■ 起動と終了のしかた

● 起動のしかた

タスクバーの [スタート] ボタンを押し、[プログラム→VS-900→VS-900] を選択してください。

● 終了のしかた

メニューから [ファイル→アプリケーションの終了] を選択します。または [終了] ボタンを押してください。

■ アンインストール（削除）のしかた

- 1 VS900 設定用プログラムが起動していないことを確認する。
- 2 タスクバーの「スタート」ボタンを押し、「設定→コントロールパネル」を選択する。
- 3 「アプリケーションの追加と削除」を実行して、「インストールと削除」タブを選択する。
- 4 「インストールと削除」の一覧から「VS-900」を選択して、「追加と削除」ボタンを押す。
- 5 削除の確認メッセージが表示されるので、「はい」ボタンを押して削除を開始する。
終了メッセージが表示されると、アンインストール（削除）は終了です。

メ モ

削除を中止する場合は、「いいえ」ボタンを押します。

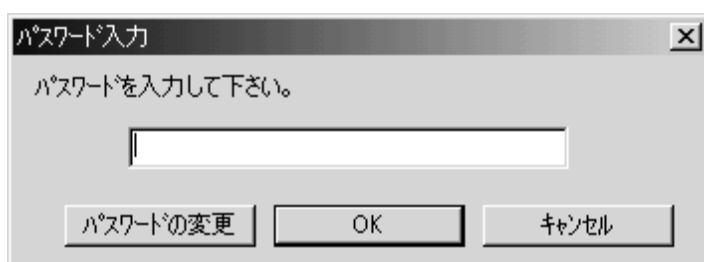
プログラムの実行と終了

■ プログラムの実行

VS900.EXE を起動します。パスワードが設定されていれば、下記のパスワード入力画面が表示されます。パスワードが正しければ、設定ファイルを読み込み、メイン画面を表示します。
設定ファイルが見つからなければ、デフォルトの設定値で設定され、設定ファイルを作成します。

● パスワード入力

本設定ソフトを起動すると、下記の画面が表示されます。ただし、パスワードが設定されていない場合は、表示されません。パスワードの設定は、メンテナンス画面で行います。



パスワード : 本設定ソフトのパスワードを入力します。(最大 20 文字)

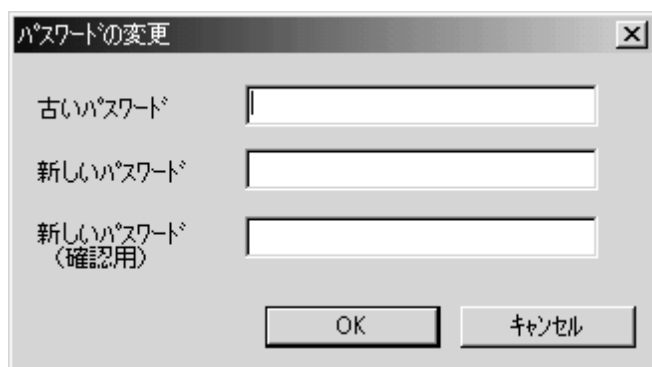
「パスワードの変更」ボタン : 本設定ソフトのパスワードが変更できます。
パスワード変更画面が表示されます。

「OK」ボタン : 入力したパスワードが正しければメイン画面が表示されます。

「キャンセル」ボタン : 本設定ソフトを終了します。

● パスワードの変更

パスワードを変更します。[パスワード入力→パスワードの変更]を選択すると、下記の画面が表示されます。



パスワードの変更

古いパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード (確認用)

OK キャンセル

古いパスワード : 現在のパスワードを入力します。

新しいパスワード : 新しいパスワードを入力します。

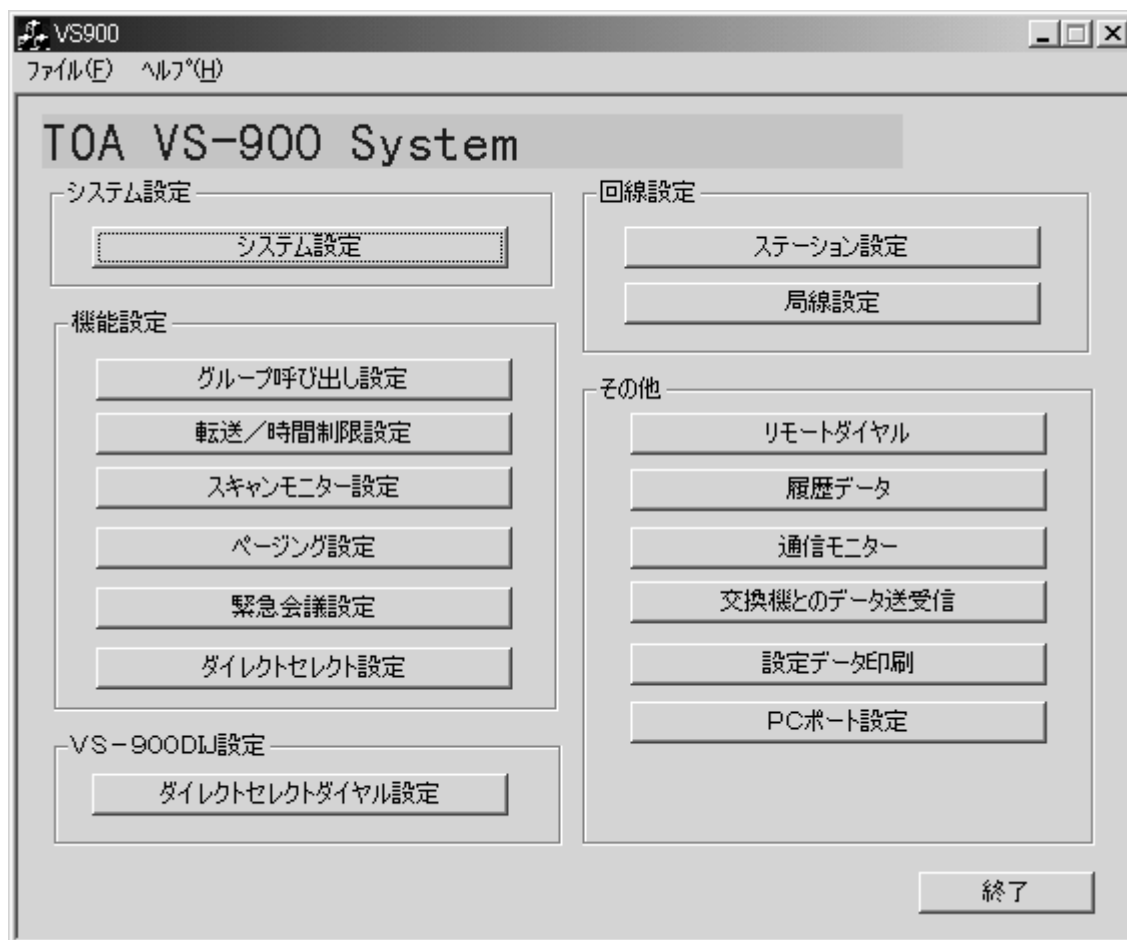
新しいパスワード (確認用) : 新しいパスワードを再度入力します。

[OK] ボタン : 入力したパスワードが正しければ保存されます。

[キャンセル] ボタン : 処理を取り消してパスワード入力画面に戻ります。

● メイン画面

パスワードが設定されている場合、パスワードを正しく入力すると、下記の画面が表示されます。
また、パスワードが未設定であれば、パスワード入力画面は表示されず、下記の画面を表示します。



※ 履歴データを要求中であれば、[履歴データ] ボタンが赤色に変化します。

※ 通信モニターを要求中であれば、[通信モニター] ボタンが赤色に変化します。

● プログラムの終了

メイン画面の [終了] ボタンを押します。または、[ファイル] メニューから [アプリケーションの終了] を選択します。

※ 履歴データ、通信モニターを要求中であれば、警告メッセージが表示されます。[停止] を選択すると、要求を中止します。

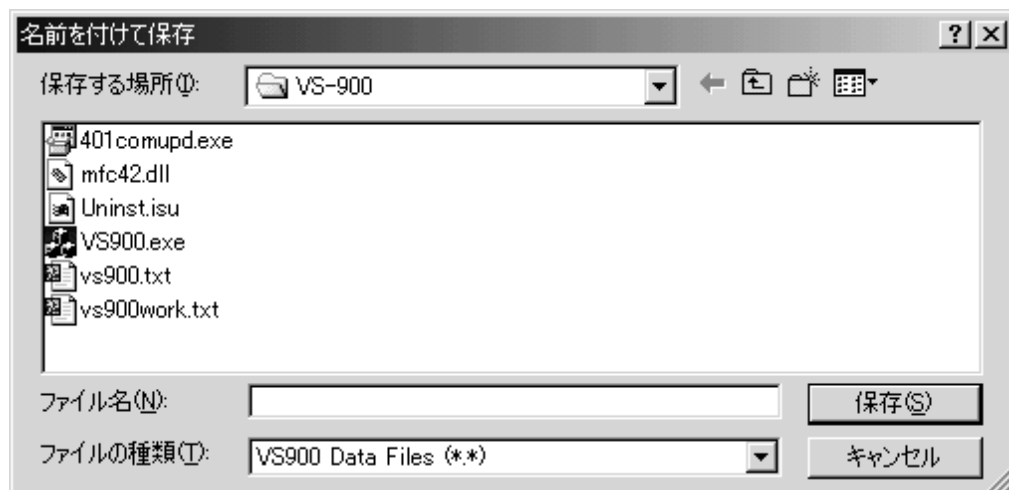
※ 設定データを更新し、設定ファイルに保存していなければ、警告メッセージが表示されます。

データの保存と読み込み

■ データの保存

入力した設定データをディスクに保存します。

メイン画面の [ファイル] メニューから [名前をつけて保存] を選択すると、下記の画面が表示されます。



ファイル名 : 保存するファイル名を入力します。

[保存] ボタン : データをディスクに保存します。

[キャンセル] ボタン : 処理を取り消してメイン画面に戻ります。

■ 上書き保存

既存のデータを変更した場合は、メイン画面の [ファイル] メニューから [上書き保存] を選択します。ファイル名がない場合（メイン画面の [ファイル] メニューから [新規作成] を選択した場合は、[名前をつけて保存] 画面が表示されますので、ファイル名を入力して保存します。

※ [名前をつけて保存] 後、[上書き保存] をすれば、[名前をつけて保存] で指定したファイルを更新します。

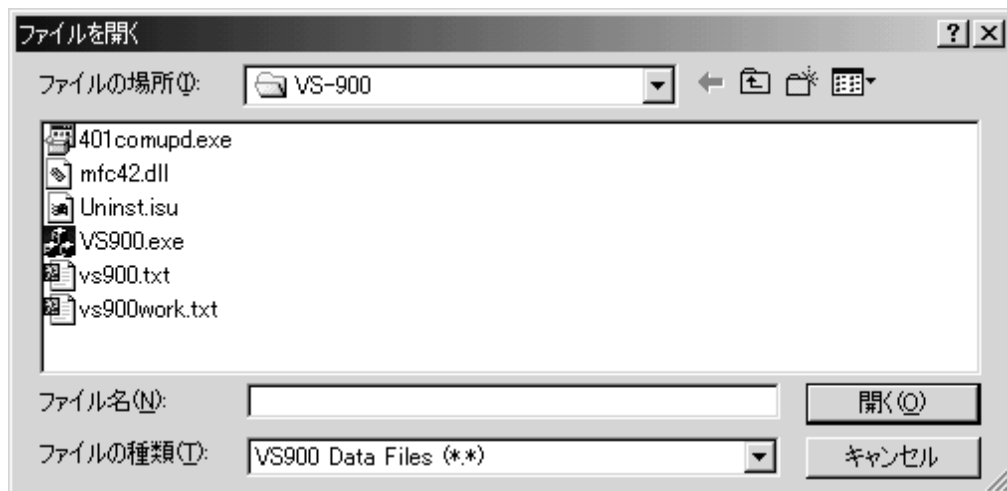
※ [開く] でファイル名を指定した場合は、指定したファイルを更新します。

※ ファイル名の指定がなければ、デフォルト設定ファイルを更新します。

■ ファイルを開く

ディスクに保存してある設定データを開きます。

メイン画面の［ファイル］メニューから［開く］を選択すると、下記の画面が表示されます。



ファイル名 : データを開くファイル名を指定します。

［開く］ ボタン : データをディスクから読み込みます。

［キャンセル］ ボタン : 処理を取り消してメイン画面に戻ります。

■ 新しいデータを作成する

デフォルトの設定データを作成します。

メイン画面の［ファイル］メニューから［新規作成］を選択します。

■ ご注意

作業中のデータがあった場合、作業中のデータは破棄されます。

印刷

印刷

設定データを印刷します。

メイン画面の [ファイル] メニューから [印刷] を選択すると、下記の画面が表示されます。



プリンタ名 : 印刷するプリンタ名を設定します。

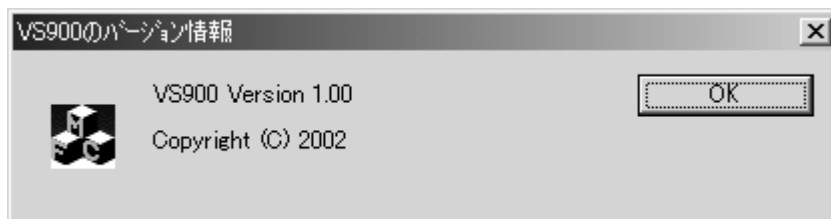
[OK] ボタン : 設定データをすべて印刷します。ただし、ダイレクトセレクトダイヤル設定は、印刷しません。

[キャンセル] ボタン : 処理を取り消してメイン画面に戻ります。

■ バージョン情報

バージョン情報を表示します。

メイン画面の [ヘルプ] メニューから [VS900 のバージョン情報] を選択すると、下記の画面が表示されます。



[OK] ボタン：メイン画面に戻ります。

データの設定

■ システム設定

● システム設定

システム全体に関する設定をします。

メイン画面の「システム設定」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

システム設定

ファイル(F) ヘルプ(H)

時刻 14:53:05

交換機台数(1-16): 3

端末番号桁数(2-6): 3

タイライン接続回線:

- ☒ 回線1
- ☐ 回線2
- ☐ 回線3
- ☐ 回線4

交換機端末番号範囲設定

交換機番号	開始端末番号
1	100
2	200
3	300

印刷 送信 更新 閉じる

時刻 : 現在の時刻（時分秒）を表示します。

交換機台数 : システム全体の交換機の台数を設定します。（設定範囲：1～16）

端末番号桁数 : 端末番号の桁数を設定します。（設定範囲：2～6）

タイライン接続回線 : タイライン接続回線1～4の使用有無を設定します。

交換機の設定（リスト）

交換機番号 : 設定された交換機台数より、台数分表示します。（表示：1～16）

開始端末番号 : 各交換機のサブステーションの端末番号開始番号を設定します。
端末番号桁数により、端末番号範囲が決まります。

※ 交換機台数が減った場合、該当の交換機がリストから削除されます。交換機台数が増えた場合、開始端末番号の設定を行ってください。

- [印刷] ボタン : 編集中の設定値を印刷します。編集中のデータは、更新しません。
- [送信] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すぐに送信し交換機の登録を変更します。編集中のデータは、更新します。キャンセルすれば、送信しません。
- [更新] ボタン : 設定を更新します。
- [閉じる] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集中のデータは破棄します。(ただし、編集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)
- [ファイル] メニュー : メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。
- [ヘルプ] メニュー : メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。

※ 編集データを更新するときには、以下のチェックを行います。

- ① 開始端末番号の重複
- ② 開始端末番号の桁数

■ 回線設定

● ステーション設定

[マスターステーション設定]

マスターステーションの設定を行います。

メイン画面の [ステーション設定] ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

交換機番号	機器番号	端末番号	名称	局線発信操作	緊急ページング操作	局線自動転送先	不在転送先
1	1	900	900	✓	✓	0797712211	
1	2	901	901	-	-		903
1	3	902	902	-	-		
1	4	903	903	✓	✓		

設定単位指定

交換機番号 : 交換機番号を設定します。(設定範囲：1～交換機台数、ALL)

マスターステーションの設定 (リスト)

※ 表示は4台固定 (ALL 指定時は交換機台数分表示)。

交換機番号 : 交換機番号を表示します。

機器番号 : 機器番号 (1～4) を表示します。

端末番号 : 端末番号を設定します。端末番号は、システム設定画面で設定した端末番号桁数で設定します。

名称 : 最大8文字 (英数カタカナ) の名称を設定します。
端末番号を入力すると、端末番号が名称として表示されます。

局線発信操作 : 局線発信操作の有無を設定します。

緊急ページング操作 : 緊急ページング操作の有無を設定します。

局線自動転送先 : 局線自動転送先 (電話番号) を設定します。(最大20桁)
電話番号にポーズを使用したい場合は「-」を入力してください。

不在転送先 : 手動不在転送先 (マスターステーション端末番号や局線発信特番) を設定します。

時刻連動不在転送先 : 時刻連動不在転送先 (マスターステーション端末番号や局線発信特番) を設定します。

話中転送先 : 話中転送先 (マスターステーション端末番号や局線発信特番) を設定します。

不応答転送先 : 不応答転送先 (マスターステーション端末番号や局線発信特番) を設定します。

※ 存在しない機器は、その行 (設定可能項目) を選択し、[Del] キーを押すと、削除できます。

※ 無効機器は、交換機番号、機器番号以外の設定項目を空白にします。

※ 無効機器は、有効機器の途中にあってもかまいません。

(例) 機器番号 1 : 有効、2 : 有効、3 : 無効、4 : 有効

[印刷] ボタン : 編集集中の設定値を印刷します。編集集中のデータは、更新しません。

[送信] ボタン : 確認メッセージを表示し、OK であれば、すぐに送信し交換機の登録を変更します。編集集中のデータは、更新します。キャンセルすれば、送信しません。

[更新] ボタン : 設定を更新します。

[閉じる] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集集中のデータは破棄します。(ただし、編集集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)

[ファイル] メニュー : メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。

[ヘルプ] メニュー : メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。

※ 編集データを更新するときには、以下のチェックを行います。

① 端末番号の重複

[サブステーション設定]

サブステーションの設定を行います。

メイン画面の [ステーション設定] ボタンを押し、[サブステーション設定] タブを押すと、下記の画面が表示されます。

設定単位指定

交換機番号 : 交換機番号を設定します。(設定範囲：1～交換機台数、ALL)

サブステーションの設定 (リスト)

※ 表示は64台固定 (ALL 指定時は交換機台数分表示)。

交換機番号 : 交換機番号を表示します。

機器番号 : 機器番号 (1～64) を表示します。

端末番号 : 端末番号は、交換機番号で設定した交換機の開始端末番号～次交換機の開始端末番号の1つ前の番号までの範囲で設定します。(P. 12「システム設定」参照)

名称 : 最大8文字 (英数カタカナ) の名称を設定します。
端末番号を入力すると、端末番号が名称として表示されます。

呼び出し先交換機番号 : 呼び出しマスターステーションの交換機番号を設定します。

呼び出し先機器番号 : 呼び出しマスターステーションの機器番号を設定します。

呼び出し先端末番号 : 呼び出しマスターステーションの端末番号を設定します。

呼び出し先名称 : 呼び出しマスターステーションの名称を表示します。

呼び出し優先順位 : 呼び出しレベルを設定します。(ノーマル/緊急)

※ 存在しない機器は、その行 (設定可能項目) で [Del] キーを押すと、削除できます。

※ 無効機器は、交換機番号、機器番号以外の設定項目を空白にします。

※ 無効機器は、有効機器の途中にあってもかまいません。

(例) 機器番号1：有効、2：有効、3：無効、4：有効

- [印刷] ボタン : 編集中の設定値を印刷します。編集中のデータは、更新しません。
- [送信] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すぐに送信し交換機の登録を変更します。編集中のデータは、更新します。キャンセルすれば、送信しません。
- [更新] ボタン : 設定を更新します。
- [閉じる] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集中のデータは破棄します。(ただし、編集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)
- [ファイル] メニュー : メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。
- [ヘルプ] メニュー : メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。
- ※ 編集データを更新するときには、以下のチェックを行います。
- ① 端末番号の重複

● 局線設定

局線の設定を行います。メイン画面の〔局線設定〕ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

設定単位指定

交換機番号 : 交換機番号を設定します。(設定範囲：1～交換機台数、ALL)

局線接続時間制限 : 局線接続時間制限の制限時間を設定します。(設定範囲：1～99分)

局線（1、2）の設定

名称 : 局線の名称を設定します。

発信特番 : 局線発信番号を設定します。(設定範囲：0～9)
着信専用回線の場合、この設定は意味を持ちません。

ダイレクトインダイヤル着信 : ダイレクトインダイヤル着信を設定します。

ダイレクトインライン着信 : ダイレクトインライン着信を設定します。

着信端末 : ダイレクトインライン着信が設定された場合、代表、メンバー1～3の着信グループを設定します。
交換機番号＋機器番号または端末番号でマスターステーションを設定します。
設定したマスターステーションの名称を表示します。

※ 1台の着信端末を削除したい場合は、その行（設定可能項目）で〔Del〕キーを押します。

- [全削除] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すべての着信端末の設定を削除します。キャンセルであれば、全削除を取り消します。
- [印刷] ボタン : 編集中の設定値を印刷します。編集中のデータは、更新しません。
- [送信] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すぐに送信し交換機の登録を変更します。編集中のデータは、更新します。キャンセルすれば、送信しません。
- [更新] ボタン : 設定を更新します。
- [閉じる] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集中のデータは破棄します。(ただし、編集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)
- [ファイル] メニュー : メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。
- [ヘルプ] メニュー : メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。
- ※ 編集データを更新するときには、以下のチェックを行います。
- ① 着信端末が有効であれば、代表の未設定
 - ② 着信端末が有効であれば、マスターステーション（交換機番号＋機器番号）の重複

■ 機能設定

● グループ呼び出し設定

グループ呼び出しのグループを設定します。

メイン画面の「グループ呼び出し設定」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

グループ呼び出し設定

ファイル(F) ヘルプ(H)

交換機番号(1-3):

マスターステーション機器番号(1-4):

交換機番号	機器番号	端末番号	名称
1	2	901	901
1	3	902	902
1	4	903	903
2	1	910	910
2	2	911	911
2	4	913	913

全削除

印刷 送信 更新 閉じる

設定単位指定

交換機番号 : 交換機番号を設定します。(設定範囲：1～交換機台数)

マスターステーション機器番号 : マスターステーションの機器番号を設定します。(設定範囲：1～4)

マスターステーション指定 (リスト)

※ 表示は15台固定。

交換機番号 : マスターステーションの交換機番号を設定します。(設定範囲：1～16)

機器番号 : マスターステーションの機器番号を設定します。(設定範囲：1～4)

端末番号 : マスターステーションの端末番号を設定します。

名称 : マスターステーションの名称を表示します。

※ 1台のメンバー端末を削除したい場合は、その行（設定可能項目）で「Del」キーを押します。

- [全削除] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すべてのメンバー端末の設定を削除します。キャンセルであれば、全削除を取り消します。
- [印刷] ボタン : 編集中の設定値を印刷します。編集中のデータは、更新しません。
- [送信] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すぐに送信し交換機の登録を変更します。編集中のデータは、更新します。キャンセルすれば、送信しません。
- [更新] ボタン : 設定を更新します。
- [閉じる] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集中のデータは破棄します。(ただし、編集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)
- [ファイル] メニュー : メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。
- [ヘルプ] メニュー : メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。
- ※ 編集データを更新するときには、以下のチェックを行います。
- ① 交換機番号+機器番号の重複 (本グループ内において)

● 転送／時間制限設定

各機能の設定を行います。

メイン画面の「転送／時間制限設定」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

転送／時間制限設定

ファイル(F) ヘルプ(H)

交換機番号(1-3): 1

☒ 不在転送する

☒ 時刻連動不在転送

開始時刻: 17:30 終了時刻: 08:45

☒ 話中転送する

☒ 不応答転送する 呼び出し時間(1-99秒): 10

☒ 呼び出し時間制限する 呼び出し時間(1-99分): 2

☒ 通話時間制限する 通話時間(10-990秒): 60

印刷 送信 更新 閉じる

設定単位指定

交換機番号 : 交換機番号を設定します。(設定範囲：1～交換機台数)

各機能設定

不在転送する : 不在転送機能の有無を設定します。
チェックした場合は、不在転送を行います。

時刻連動不在転送 : 開始時刻、終了時刻を指定して行う自動不在転送機能の有無を設定します。

開始時刻 : 不在転送の開始時間を時分で設定します。(設定範囲：00:00～23:59)

終了時刻 : 不在転送の終了時間を時分で設定します。(設定範囲：00:00～23:59)

話中転送する : 話中転送機能の有無を設定します。
チェックした場合は、通話中で応答できないときに転送を行います。

不応答転送する : 不応答転送機能の有無を設定します。
チェックした場合は、設定した呼び出し時間内に応答がなければ転送を行います。

呼び出し時間(秒) : 不応答転送機能の呼び出し時間を設定します。(設定範囲：1～99秒)

呼び出し時間制限する : 呼び出し時間制限機能の有無を設定します。
チェックした場合は、設定した呼び出し時間内に応答がなければ、呼び出しを終了します。

呼び出し時間(分) : 呼び出し時間制限の制限時間を設定します。(設定範囲：1～99分)

通話時間制限する : 通話時間制限機能の有無を設定します。
チェックした場合は、設定した通話時間を超えると、回線を切断します。

通話時間(秒) : 通話時間制限の制限時間を設定します。(設定範囲：1～990秒)

- [印刷] ボタン : 編集集中の設定値を印刷します。編集集中のデータは、更新しません。
- [送信] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すぐに送信し交換機の登録を変更します。編集集中のデータは、更新します。キャンセルすれば、送信しません。
- [更新] ボタン : 設定を更新します。
- [閉じる] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集集中のデータは破棄します。(ただし、編集集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)
- [ファイル] メニュー : メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。
- [ヘルプ] メニュー : メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。

● スキャンモニター設定

スキャンモニターのグループを設定します。

メイン画面の［スキャンモニター設定］ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

スキャンモニター設定

ファイル(F) ヘルプ(H)

交換機番号(1-3): 1

マスターステーション機器番号(1-4): 1

モニター時間(1-99秒): 5

交換機番号	機器番号	端末番号	名称
1	1	100	100
1	2	101	101
1	3	102	102
1	4	103	103
1	5	104	104

全削除

印刷 送信 更新 閉じる

設定単位指定

交換機番号 : 交換機番号を設定します。(設定範囲: 1～交換機台数)

マスターステーション機器番号 : マスターステーションの機器番号を設定します。(設定範囲: 1～4)

モニター時間 : スキャンモニターの時間(秒)を設定します。(設定範囲: 1～99秒)

サブステーション指定 (リスト)

※ 表示は15台固定。

交換機番号 : サブステーションの交換機番号を設定します。(設定範囲: 1～16)

機器番号 : サブステーションの機器番号を設定します。(設定範囲: 1～64)

端末番号 : サブステーションの端末番号を設定します。

名称 : サブステーションの名称を表示します。

※ 1台のモニター端末を削除したい場合は、その行(設定可能項目)で[Del]キーを押します。

- [全削除] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すべてのモニター端末の設定を削除します。キャンセルであれば、全削除を取り消します。
- [印刷] ボタン : 編集集中の設定値を印刷します。編集集中のデータは、更新しません。
- [送信] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すぐに送信し交換機の登録を変更します。編集集中のデータは、更新します。キャンセルすれば、送信しません。
- [更新] ボタン : 設定を更新します。
- [閉じる] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集集中のデータは破棄します。(ただし、編集集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)
- [ファイル] メニュー : メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。
- [ヘルプ] メニュー : メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。
- ※ 編集データを更新するときには、以下のチェックを行います。
- ① 交換機番号+機器番号の重複 (本グループ内において)

● ページング設定

[ページング設定]

ページングの設定を行います。

メイン画面の [ページング設定] ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

交換機番号	機器番号	端末番号	名称	ゾーン 1	ゾーン 2	ゾーン 3	ゾーン 4	ゾーン 5
1	1	100	100	x	x	x	x	x
1	2	101	101	v	-	-	-	-
1	3	102	102	v	v	-	-	-
1	4	103	103	v	-	v	-	-
1	5	104	104	x	x	x	x	x
1	6	105	105	-	-	-	v	-
1	7	106	106	-	-	-	-	v
1	8	107	107	-	-	-	-	-
1	9	108	108	-	-	-	-	-

設定単位指定

交換機番号 : 交換機番号を設定します。(設定範囲：1～交換機台数)

ゾーン桁数 : ページングゾーンの桁数を設定します。(設定範囲：1～2桁)

ページング時間制限 : ページング時間制限の制限時間を設定します。(設定範囲：10～990 秒)

サブステーション指定 (リスト)

交換機番号 : サブステーションの交換機番号を表示します。

機器番号 : サブステーションの機器番号を表示します。

端末番号 : サブステーションの端末番号を表示します。

名称 : サブステーションの名称を表示します。

ゾーン : 19ゾーンの設定が可能です。

V : 登録

— : 未登録

X : 登録不可

- ・サブステーション設定で、呼び出し優先順位を「緊急」指定した機器
- ・無効機器

- [印刷] ボタン : 編集中の設定値を印刷します。編集中のデータは、更新しません。
- [送信] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すぐに送信し交換機の登録を変更します。編集中のデータは、更新します。キャンセルすれば、送信しません。
- [更新] ボタン : 設定を更新します。
- [閉じる] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集中のデータは破棄します。(ただし、編集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)
- [ファイル] メニュー : メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。
- [ヘルプ] メニュー : メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。

[外部拡声機器設定]

外部拡声機器の設定を行います。

メイン画面の [ページング設定] ボタンを押し、[外部拡声機器設定] タブを押すと、下記の画面が表示されます。

交換機番号	機器番号	ゾーン 1	ゾーン 2	ゾーン 3	ゾーン 4	ゾーン 5	ゾーン 6	ゾーン 7
1	PA01	V	-	-	-	-	-	-
1	PA02	-	V	-	-	-	-	-
1	PA03	-	-	V	-	-	-	-
1	PA04	-	-	-	V	-	-	-
1	PA05	-	-	-	-	V	-	-
1	PA06	-	-	-	-	-	V	-
1	PA07	-	-	-	-	-	-	V
1	PA08	-	-	-	-	-	-	-
1	PA09	-	-	-	-	-	-	-
1	PA10	-	-	-	-	-	-	-
1	PA11	-	-	-	-	-	-	-
1	PA12	-	-	-	-	-	-	-
1	PA13	-	-	-	-	-	-	-

設定単位指定

交換機番号 : 交換機番号を設定します。(設定範囲：1～交換機台数)

外部拡声機器設定 (リスト)

交換機番号 : 外部拡声機器の交換機番号を表示します。

機器番号 : 外部拡声機器の機器番号 (PA01～PA16) を表示します。

ゾーン : 19ゾーンの設定が可能です。

V : 登録
- : 未登録

[印刷] ボタン : 編集中の設定値を印刷します。編集中のデータは、更新しません。

[送信] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すぐに送信し交換機の登録を変更します。編集中のデータは、更新します。キャンセルすれば、送信しません。

[更新] ボタン : 設定を更新します。

[閉じる] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集中のデータは破棄します。(ただし、編集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)

[ファイル] メニュー : メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。

[ヘルプ] メニュー : メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。

[外部入力放送]

外部入力放送の設定を行います。

メイン画面の [ページング設定] ボタンを押し、[外部入力放送] タブを押すと、下記の画面が表示されます。

ページング設定

ファイル(F) ヘルプ(H)

交換機番号(1-3): 1

ページング設定 | 外部音声機器設定 | 外部入力放送

交換機番号	外部入力	ゾーン 1	ゾーン 2	ゾーン 3	ゾーン 4	ゾーン 5	ゾーン 6	ゾーン 7
1	ch1	v	-	-	-	-	-	-
1	ch2	-	v	-	-	-	-	-
1	ch3	-	-	v	-	-	-	-
1	ch4	-	-	-	v	-	-	-

印刷 送信 更新 閉じる

設定単位指定

交換機番号 : 交換機番号を設定します。(設定範囲: 1 ~ 交換機台数)

外部入力放送 (リスト)

交換機番号 : 外部入力放送の交換機番号を表示します。

機器番号 : 外部入力放送の外部入力 (ch1 ~ ch4) を表示します。

ゾーン : 19 ゾーンの設定が可能です。

v : 登録
- : 未登録

[印刷] ボタン : 編集集中の設定値を印刷します。編集集中のデータは、更新しません。

[送信] ボタン : 確認メッセージを表示し、OK であれば、すぐに送信し交換機の登録を変更します。編集集中のデータは、更新します。キャンセルすれば、送信しません。

[更新] ボタン : 設定を更新します。

[閉じる] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集集中のデータは破棄します。(ただし、編集集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)

[ファイル] メニュー : メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。

[ヘルプ] メニュー : メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。

● 緊急会議設定

緊急会議のグループを設定します。

メイン画面の［緊急会議設定］ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

緊急会議設定

ファイル(F) ヘルプ(H)

交換機番号(1-3):

マスターステーション機器番号(1-4):

交換機番号	機器番号	端末番号	名称
1	2	901	901
2	1	910	910
3	1	920	920

全削除

印刷 送信 更新 閉じる

設定単位指定

交換機番号 : 交換機番号を設定します。(設定範囲: 1～交換機台数)

マスターステーション機器番号 : マスターステーションの機器番号を設定します。(設定範囲: 1～4)

マスターステーション指定 (リスト)

※ 表示は3台固定。

交換機番号 : マスターステーションの交換機番号を設定します。(設定範囲: 1～16)

機器番号 : マスターステーションの機器番号を設定します。(設定範囲: 1～4)

端末番号 : マスターステーションの端末番号を設定します。

名称 : マスターステーションの名称を設定します。

※ 1台のメンバー端末を削除したい場合は、その行 (設定可能項目) で [Del] キーを押します。

- [全削除] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すべてのメンバー端末の設定を削除します。キャンセルであれば、全削除を取り消します。
- [印刷] ボタン : 編集中の設定値を印刷します。編集中のデータは、更新しません。
- [送信] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すぐに送信し交換機の登録を変更します。編集中のデータは、更新します。キャンセルすれば、送信しません。
- [更新] ボタン : 設定を更新します。
- [閉じる] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集中のデータは破棄します。(ただし、編集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)
- [ファイル] メニュー : メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。
- [ヘルプ] メニュー : メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。

※ 編集データを更新するときには、以下のチェックを行います。

- ① 交換機番号+機器番号の重複 (本グループ内において)

● ダイレクトセレクト設定

ダイレクトセレクトを設定します。

メイン画面の [ダイレクトセレクト設定] ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。



The image shows a Windows-style dialog box titled "ダイレクトセレクト設定" (Direct Select Setting). It has a menu bar with "ファイル(F)" and "ヘルプ(H)". The main area contains a label "交換機番号(1-3):" followed by a dropdown menu showing the value "1". Below this is a label "制御出力モード:" followed by two radio buttons: "通話開始時メイク" (selected) and "呼び出し開始時メイク". At the bottom, there are four buttons: "印刷" (Print), "送信" (Send), "更新" (Update), and "閉じる" (Close). The "更新" button is highlighted with a dashed border.

設定単位指定

交換機番号 : 交換機番号を設定します。(設定範囲：1～交換機台数)

制御出力モード : 外部機器制御出力動作のモードを設定します。
(通話開始時メイク／呼び出し開始時メイク)

[印刷] ボタン : 編集集中の設定値を印刷します。編集集中のデータは、更新しません。

[送信] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すぐに送信し交換機の登録を変更します。
編集集中のデータは、更新します。キャンセルすれば、送信しません。

[更新] ボタン : 設定を更新します。

[閉じる] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集集中のデータは破棄します。(ただし、編集集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)

[ファイル] メニュー : メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。

[ヘルプ] メニュー : メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。

■ その他

● リモートダイヤル

ダイヤルを設定します。メイン画面の [リモートダイヤル] ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

A screenshot of a dialog box titled "リモートダイヤル" (Remote Dial). It contains three input fields: "交換機番号(1-3):" (Exchange Number (1-3)) with a spinner box showing "1", "マスターステーション機器番号(1-4):" (Master Station Equipment Number (1-4)) with a spinner box showing "1", and "ダイヤル" (Dial) with a text box containing "100". At the bottom, there are two buttons: "ダイヤル" (Dial) and "キャンセル" (Cancel).

ダイヤル元指定

交換機番号 : 交換機番号を設定します。(設定範囲：1～交換機台数)

マスターステーション機器番号
: マスターステーションの機器番号を設定します。(設定範囲：1～4)

ダイヤル : ダイヤル先を設定します。(最大32桁)
最新の5個を表示します。
電話番号にポーズを使用したいときは「-」を入力してください。

[ダイヤル] ボタン : すぐに交換機にダイヤルを通知します。

[キャンセル] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。

● 履歴データ

履歴データを要求する交換機の設定と受信した履歴データの表示を行います。また、履歴データをファイルに保存します。メイン画面の「履歴データ」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

受信日時時刻	交換機番号	時刻	回線1	回線2	回線3	回線4	状態番号 [状態]
--------	-------	----	-----	-----	-----	-----	-----------

履歴データの要求

交換機番号のコンボボックスをプルダウンし、交換機番号を選択します。

- ・「ALL」を選択すると、全交換機が選択状態になります。
- ・「RESET」を選択すると、全交換機が非選択状態になります。

「選択変更」ボタンを押すと、交換機に要求を発します。

履歴データの自動保存

受信したデータを約64 KBの容量単位で、自動ファイリングします。

ファイル名は、HSyymmdd-xx.txt（作成日が、2000年1月7日であれば、HS000107-01.txt、HS00017-02.txt… xxは、シーケンス番号）となります。

履歴データの手動保存

受信したデータが、表示されていた場合、「ファイル出力」ボタンが有効となり、表示している履歴データをファイリングします。ファイリングすれば、「ファイル出力」ボタンは、押すことができなくなります。メイン画面から、再度、履歴データ画面を起動すれば、押せるようになります。

ファイル名は、HSyymmddhhmmss.txt（作成日が、2000年1月7日14時05分27秒であれば、HS00017140527.txt）となります。

フォルダ選択

「フォルダ選択」ボタンを押すと、手動保存時のファイル保存先を変更できます。

履歴データの表示

最新の1000件を表示します。

印刷

「印刷」ボタンを押すと、表示されている履歴データを印刷します。

終了

「閉じる」ボタンを押して、終了します。

[ファイル] メニュー：メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。

[ヘルプ] メニュー：メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。

以下に履歴データの表示例を示します。

履歴データ								
ファイル(F) ヘルプ(H)								
交換機番号(1-3):			選択変更					
受信日付時刻	交換機番号	時刻	回線1	回線2	回線3	回線4	状態番号 [状態]	
2001-12-20 16:11:45	1	16:08:12	901	100			通常終話	
2001-12-20 16:11:45	1	16:08:14	901	Pag00			マスターの操作完了	
2001-12-20 16:11:45	1	16:08:15	901	Pag00			系統／一斉ベルリント開始	
2001-12-20 16:11:45	1	16:08:16	901	Pag00			ベルリント終了	
2001-12-20 16:11:53	1	16:09:59	100	902			ノーマルベルの呼出し	
2001-12-20 16:11:53	1	16:09:59	902				マスターのノーマル着信	
2001-12-20 16:11:58	1	16:10:03	902	100			マスターの操作完了	
2001-12-20 16:11:58	1	16:10:04	902	100			ノーマル通話開始	
2001-12-20 16:12:05	1	16:10:11	902	900	100		マスターの操作完了	
2001-12-20 16:12:05	1	16:10:11	902	900			マスターの呼出し	
2001-12-20 16:12:05	1	16:10:11	900				マスターのマスター着信	
2001-12-20 16:12:06	1	16:10:12	900	902			マスターの操作完了	
2001-12-20 16:12:07	1	16:10:13	902	900	100		ノーマル通話開始	
2001-12-20 16:12:12	1	16:10:18	902				回線切断	
2001-12-20 16:12:12	1	16:10:18	100	900			ノーマル通話開始	
フォルダ選択 印刷 ファイル出力 閉じる								

● 通信モニター

通信モニターデータを要求する交換機の設定と受信した通信モニターデータの表示を行います。また、通信モニターデータをファイルに保存します。メイン画面の「通信モニター」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

モニターデータの要求

交換機番号のコンボボックスをプルダウンし、交換機番号を選択します。

- ・「ALL」を選択すると、全交換機が選択状態になります。
- ・「RESET」を選択すると、全交換機が非選択状態になります。

「選択変更」ボタンを押すと、交換機に要求を発します。

通信モニターデータの自動保存

受信したデータを約64 KBの容量単位で、自動ファイリングします。

ファイル名は、CMyymmdd-xx.txt（作成日が、2000年1月7日であれば、CM000107-01.txt、HS00017-02.txt… xxは、シーケンス番号）となります。

通信モニターデータの手動保存

受信したデータが、表示されていた場合、「ファイル出力」ボタンが有効となり、表示している通信データデータをファイリングします。ファイリングすれば、「ファイル出力」ボタンは、押すことができなくなります。メイン画面から、再度、通信モニター画面を起動すれば、押せるようになります。

ファイル名は、CMyymmddhhmmss.txt（作成日が、2000年1月7日14時05分27秒であれば、CM00017140527.txt）となります。

フォルダ選択

「フォルダ選択」ボタンを押すと、手動保存時のファイル保存先を変更できます。

通信モニターデータの表示

最新の1000件を表示します。

印刷

「印刷」ボタンを押すと、表示されている通信モニターデータを印刷します。

終了

[閉じる] ボタンを押して、終了します。

[ファイル] メニュー：メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。

[ヘルプ] メニュー：メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。

以下に通信モニターデータの表示例を示します。

通信モニター

ファイル(F) ヘルプ(H)

交換機番号(1-1): 1 選択変更

受信日付時刻	交換機番号	モニターデータ
2002-07-19 14:48:47	1	020145
2002-07-19 14:48:47	1	020146
2002-07-19 14:48:48	1	020147
2002-07-19 14:48:49	1	020148
2002-07-19 14:48:50	1	020149
2002-07-19 14:48:51	1	02014A
2002-07-19 14:48:52	1	02014B
2002-07-19 14:48:53	1	02014C
2002-07-19 14:48:54	1	02014D
2002-07-19 14:48:55	1	02014E
2002-07-19 14:48:56	1	02014F
2002-07-19 14:48:57	1	020150
2002-07-19 14:48:58	1	020151
2002-07-19 14:48:59	1	020152

フォルダ選択 印刷 ファイル出力 閉じる

● 交換機とのデータ送受信

[交換機へデータ送信]

設定データを送信する交換機を設定します。

メイン画面の[交換機とのデータ送受信] ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

交換機とのデータ送受信

交換機へデータ送信 | 交換機からデータ受信

データを送信する交換機を選択して下さい。

☒ 全交換機 ☐ 指定交換機

交換機番号(1-3):

送信開始 終了

また、指定交換機を選択したときの画面を下記に示します。

交換機とのデータ送受信

交換機へデータ送信 | 交換機からデータ受信

データを送信する交換機を選択して下さい。

☐ 全交換機 ☒ 指定交換機

交換機番号(1-3):

送信開始 終了

全交換機 : システム設定の交換機台数で設定した全交換機に設定データを送信します。

指定交換機 : 交換機番号で指定した交換機に設定データを送信します。

交換機番号 : 指定交換機が選択された場合に交換機番号を設定します。
交換機台数で設定された交換機の中から番号を設定します。

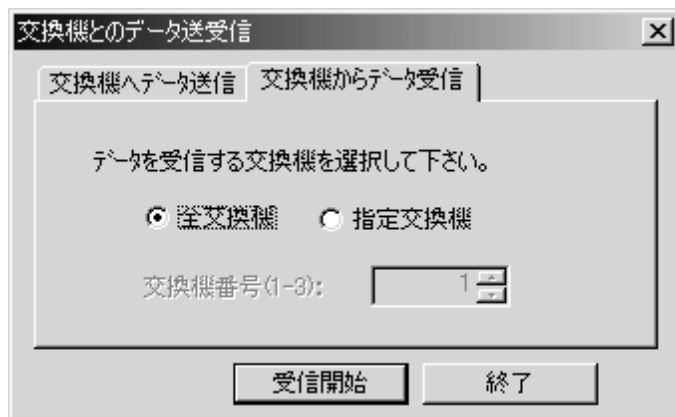
[送信開始] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、設定データを送信し、交換機の登録を変更します。キャンセルすれば、送信しません。

[終了] ボタン : メイン画面に戻ります。

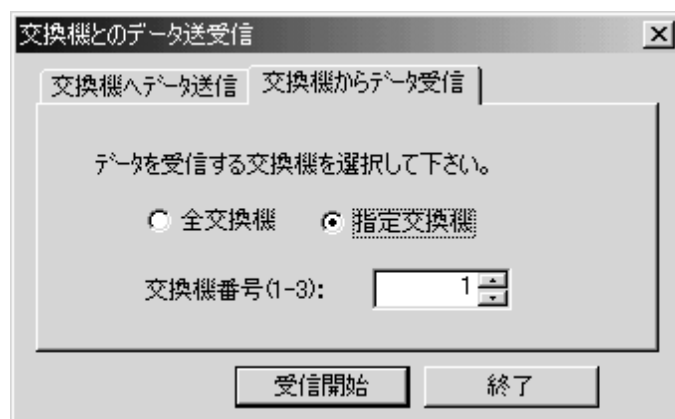
[交換機からデータ受信]

設定データを受信する交換機を設定します。

メイン画面の[交換機とのデータ送受信] ボタンを押し、[交換機からデータ受信] タブを押すと、下記の画面が表示されます。



また、指定交換機を選択したときの画面を下記に示します。



全交換機 : 全交換機から登録データを受信します。

指定交換機 : 交換機番号で指定した交換機から登録データを受信します。

交換機番号 : 指定交換機が選択された場合に交換機番号を設定します。
交換機台数で設定された交換機の中から番号を設定します。

[受信開始] ボタン : 指定された交換機から登録データを受信し、設定データを更新します。

[終了] ボタン : メイン画面に戻ります。

ご注意

受信データは編集集中のデータに上書きされます。データを受信しても問題ない状態（データの新規作成後など）で実行してください。

● 設定データ印刷

設定データを印刷する交換機を設定します。

メイン画面の「設定データ印刷」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

また、指定交換機を選択した時の画面を下記に示します。

全交換機 : システム設定の交換機台数で設定した全交換機の設定データを印刷します。

指定交換機 : 交換機番号で指定した交換機の設定データを印刷します。

交換機番号 : 指定交換機が選択された場合に交換機番号を設定します。
交換機台数で設定された交換機の中から番号を設定します。

「印刷開始」ボタン : 設定された交換機の設定データを印刷します。

「キャンセル」ボタン : メイン画面に戻ります。

※ ダイレクトセレクトダイヤルのデータは、印刷しません。

● PC ポート設定

PC ポートの設定を行います。メイン画面の [PC ポート設定] ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

RS-232C 設定時の画面を下記に示します。

The screenshot shows the 'PCポート設定' (PC Port Setting) dialog box. It has a menu bar with 'ファイル(F)' and 'ヘルプ(H)'. Below the menu bar is a section titled 'パソコン／交換機 接続設定' (PC/Exchange Machine Connection Setting). Inside this section, there are two rows of radio buttons. The first row is for '接続方式' (Connection Method), with 'RS-232C' selected and 'モデム' (Modem) unselected. The second row is for 'COMポート' (COM Port), with 'COM1' selected, 'COM2', 'COM3', and 'COM4' unselected. Below these radio buttons, the text 'ボーレート 19200Bps パリティ EVEN データ 8bit StopBit 1' is displayed. At the bottom of the section is a text field for '電話番号' (Phone Number), which is currently empty. Below the section are four buttons: 'パスワードの変更' (Change Password), '印刷' (Print), '更新' (Update), and '閉じる' (Close).

また、モデム設定時の画面を下記に示します。

The screenshot shows the 'PCポート設定' (PC Port Setting) dialog box, but with the 'モデム' (Modem) radio button selected under '接続方式'. The 'COMポート' section remains the same, with 'COM1' selected. The '電話番号' (Phone Number) text field now contains the value '0797712211'. The '更新' (Update) button is highlighted with a dashed border.

パソコン／交換機接続指定

- 接続方式** : 交換機との接続方式 (RS-232C / モデム) を設定します。
- COM ポート** : RS-232C 接続の場合、COM ポートを設定します。
- 電話番号** : モデム接続の場合、電話番号を設定します。(最大 20 桁)
電話番号にポーズを使用したいときは「-」を入力してください。

[パスワードの変更] ボタン : パスワードを変更します。このボタンを押すと、パスワード変更画面が表示されます。(P. 6 「パスワードの変更」を参照してください。)

[印刷] ボタン : 編集中の設定値を印刷します。編集中のデータは、更新しません。

[更新] ボタン : 設定を更新します。

〔閉じる〕 ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集集中のデータは破棄します。(ただし、編集集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)

〔ファイル〕 メニュー : メイン画面の〔ファイル〕メニューと同一機能です。

〔ヘルプ〕 メニュー : メイン画面の〔ヘルプ〕メニューと同一機能です。

■ VS-900DIJ 設定

● ダイレクトセレクトダイヤル設定

ダイレクトセレクトダイヤルを設定します。
メイン画面の [ダイレクトセレクトダイヤル] ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。

スイッチ番号	ダイヤル	名称	ドアリモート(スイッチ番号)
1	100	100	
2	101	101	
3	102	102	
4	103	103	
5	104	104	
6	105	105	
7	106	106	
8			
9			
10			

設定単位指定

交換機番号 : 交換機番号を設定します。(設定範囲：1～交換機台数)

マスターステーション機器番号 : マスターステーションの機器番号を設定します。(設定範囲：1～4)

ワンショットメイク時間 : ワンショットのメイク時間を設定します。(設定範囲：1～9秒)

ダイヤル指定 (リスト)

※ 表示は1024 スイッチ固定

ダイヤル : ダイヤルを設定します。(設定範囲：1～16桁)

名称 : マスターステーションの名称、サブステーションの名称を表示します。

ドアリモート (スイッチ番号) : ドアリモートの制御番号 (スイッチ番号) を設定します。

※ 選択されている行は、設定可能項目上で [Del] キーを押すと削除できます。

- [全削除] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すべてのスイッチの設定を削除します。キャンセルであれば、全削除を取り消します。
- [受信] ボタン : 交換機から全スイッチのデータを受信し、更新します。編集中のデータは、破棄されます。
- [印刷] ボタン : 編集中の設定値を印刷します。編集中のデータは、更新しません。
- [送信] ボタン : 確認メッセージを表示し、OKであれば、すぐに送信し交換機の登録を変更します。編集中のデータは、更新します。キャンセルすれば、送信しません。
- [更新] ボタン : 設定を更新します。
- [閉じる] ボタン : 処理を終了してメイン画面に戻ります。更新していない編集中のデータは破棄します。(ただし、編集中のデータを更新せずに終了すると、その旨を通知します。)
- [ファイル] メニュー : メイン画面の [ファイル] メニューと同一機能です。
- [ヘルプ] メニュー : メイン画面の [ヘルプ] メニューと同一機能です。

データ範囲と初期値

■ システム設定

対 象	項 目	単 位	範 囲	初期値
システム設定	交換機台数	全体	1～16	1
	端末番号桁数	全体	2～6	2
	タイライン接続回線	全体	使用／未使用	未使用
	開始端末番号	交換機	端末番号桁数による。 ※ 2桁の場合 1：100～、2：200～など	10

■ 回線設定

対 象	項 目	単 位	範 囲	初期値
マスター ステーション	端末番号	マスター ステーション	00～999999 端末番号桁数に合わせる	90～93
	名称	マスター ステーション	英数カタカナ8文字	端末番号
	局線発信操作	マスター ステーション	可（√）／不可（－）	－
	緊急ページング操作	マスター ステーション	可（√）／不可（－）	－
	局線自動転送先	マスター ステーション	最大20桁	設定なし
	不在転送先*	マスター ステーション	マスターステーションの端末 番号／局線発信特番	設定なし
	時刻連動不在転送先*	マスター ステーション	マスターステーションの端末 番号／局線発信特番	設定なし
	話中転送先	マスター ステーション	マスターステーションの端末 番号／局線発信特番	設定なし
	不応答転送先*	マスター ステーション	マスターステーションの端末 番号／局線発信特番	設定なし

* この設定はマスターステーションでも行えます。「VS-900 取扱説明書」の各機能についての説明を参照してください。

対 象	項 目	単 位	範 囲	初期値
サブステー ション	端末番号	サブステー ション	00～999999 開始端末番号から次交換機の 開始端末番号の1つ前の番号 まで	10～73
	名称	サブステー ション	英数カタカナ8文字	端末番号
	呼び出し先交換機番号	サブステー ション	マスターステーションの交換 機番号	1
	呼び出し先機器番号	サブステー ション	マスターステーションの機器 番号	1
	呼び出し先端末番号	サブステー ション	マスターステーションの端末 番号	10
	呼び出し先名称	サブステー ション	マスターステーションの名称	10
	呼び出し優先順位	サブステー ション	ノーマル／緊急	ノーマル
局線設定	局線接続時間制限	交換機	1～99分	3分
	名称	各局線	英数カタカナ8文字	設定なし
	発信特番	各局線	0～9	なし
	ダイレクトインダイヤル着信	各局線	あり／なし	なし
	ダイレクトインライン着信	各局線	あり／なし	なし
	着信端末（代表／メン バー）交換機番号	各局線	マスターステーションの交換 機番号	設定なし
	着信端末（代表／メン バー）機器番号	各局線	マスターステーションの機器 番号	設定なし
	着信端末（代表／メン バー）端末番号	各局線	マスターステーションの端末 番号	設定なし
	着信端末（代表／メン バー）名称	各局線	マスターステーションの名称	設定なし

機能設定

対 象	項 目	単 位	範 囲	初期値
グループ呼び出し設定	グループメンバー端末交換機番号	マスターステーション	マスターステーションの交換機番号	設定なし
	グループメンバー端末機器番号	マスターステーション	マスターステーションの機器番号	設定なし
	グループメンバー端末端末番号	マスターステーション	マスターステーションの端末番号	設定なし
	グループメンバー端末名称	マスターステーション	マスターステーションの名称	設定なし
転送／時間制限設定	不在転送	交換機	あり／なし	なし
	時刻連動不在転送	交換機	あり／なし	なし
	時刻連動不在転送開始時刻	交換機	00:00 ～ 23:59	なし
	時刻連動不在転送終了時刻	交換機	00:00 ～ 23:59	なし
	話中転送	交換機	あり／なし	なし
	不応答転送	交換機	あり／なし	なし
	不応答転送呼び出し時間	交換機	1 ～ 99 秒	10 秒
	呼び出し時間制限	交換機	あり／なし	なし
	呼び出し時間制限制限時間	交換機	1 ～ 99 分	1 分
	通話時間制限	交換機	あり／なし	なし
	通話時間制限 制限時間	交換機	1 ～ 990 秒	10 秒
スキャンモニター設定	モニター時間	マスターステーション	1 ～ 99 秒	5 秒
	モニターグループ端末交換機番号	マスターステーション	サブステーションの交換機番号	設定なし
	モニターグループ端末機器番号	マスターステーション	サブステーションの機器番号	設定なし
	モニターグループ端末端末番号	マスターステーション	サブステーションの端末番号	設定なし
	モニターグループ端末名称	マスターステーション	サブステーションの名称	設定なし
ページング設定	ゾーン桁数	交換機	1 ～ 2 桁	1 桁
	ページング時間制限	交換機	10 ～ 990 秒	10 秒
	ページングゾーン所属サブステーション	交換機	所属する／しない	所属しない
外部拡声器設定	ページングゾーン所属拡声系統番号	ページングゾーン	所属する／しない	所属しない
外部入力放送	外部入力番号	外部起動入力系統	起動する／しない	起動しない

対 象	項 目	単 位	範 囲	初期値
緊急会議設定	会議メンバー端末交換機番号	マスターステーション	マスターステーションの交換機番号	設定なし
	会議メンバー端末機器番号	マスターステーション	マスターステーションの機器番号	設定なし
	会議メンバー端末端末番号	マスターステーション	マスターステーションの端末番号	設定なし
	会議メンバー端末名称	マスターステーション	マスターステーションの名称	設定なし
ダイレクトセレクト設定	制御出力モード	交換機	マスターステーションの交換機番号	通話開始時

■ その他

対 象	項 目	単 位	範 囲	初期値
リモートダイヤル	リモートダイヤル	全体	—	—
履歴データ	履歴データ	全体	—	—
通信モニター	通信モニター	全体	—	—
交換機とのデータ送受信	交換機へデータ送信	全体	全交換機／指定交換機	全交換機
	交換機からデータ受信	全体	全交換機／指定交換機	全交換機
設定データ印刷	設定データ印刷	全体	全交換機／指定交換機	全交換機
PC ポート	パソコン／交換機 接続方式	全体	全交換機／指定交換機	RS-232C
	通信ポート（RS-232C 接続時）	全体	全交換機／指定交換機	COM1
	電話番号（モデム接続時）	全体	最大 20 桁	設定なし

■ VS-900DIJ 設定

対 象	項 目	単 位	範 囲	初期値
ダイレクトセレクトダイヤル設定	ワンショットのメイク時間	マスターステーション	1～9 秒	3 秒
	ダイヤル	マスターステーション	16 桁	設定なし
	名称	マスターステーション	英数カタカナ 8 文字	設定なし
	ドアリモート制御番号（スイッチ番号）	マスターステーション	1～1024	設定なし

メッセージ

■ 確認メッセージ

No.	メッセージ	説 明
1	テキストが修正されています。このまま終了しますか？	編集が行われている状態で、[閉じる] ボタンを押したときに確認します。
2	全リストデータを削除します。よろしいですか？	[全削除] ボタンを押したときに確認します。
3	設定ファイルが更新されていません。このまま終了しますか？	編集が行われていて、ファイルの書き込みを行わないで終了しようとしたときに確認します。
4	履歴データを読み込み中です。停止します。	履歴データを要求している状態で、終了しようとしたときに確認します。
5	通信データを読み込み中です。停止します。	通信モニターを要求している状態で、終了しようとしたときに確認します。

■ 設定エラーメッセージ

No.	メッセージ	説 明
1	開始端末番号が間違っています。	開始端末番号の範囲が間違っています。端末番号桁数を確認してください。
2	開始端末番号が重複しています。	開始端末番号が重複しています。
3	開始端末番号の桁数が間違っています。	開始端末番号と端末番号桁数を確認してください。
4	開始端末番号が次交換機の開始端末番号を越えています。	開始端末番号が次交換機の開始端末番号より大きな値で設定されています。
5	交換機番号が間違っています。	交換機台数で設定した範囲の交換機番号を設定してください。(1～交換機台数)
6	開始時刻が間違っています。	時刻連動不在転送の開始時刻が間違っています。
7	終了時刻が間違っています。	時刻連動不在転送の終了時刻が間違っています。
8	呼び出し時間（秒）が間違っています。	不応答転送機能の呼び出し時間が間違っています。
9	呼び出し時間（分）が間違っています。	呼び出し時間制限の呼び出し時間が間違っています。
10	通話時間（秒）が間違っています。	通話時間制限の通話時間が間違っています。
11	端末番号が間違っています。	ステーション設定時の端末番号が間違っています。 マスターステーションの場合：端末番号桁数が間違っています。 サブステーションの場合： 端末番号桁数が間違っています。 交換機の開始端末番号～次交換機の開始端末番号－1の範囲にありません。
12	交換機 A の端末番号 B が重複しています。	交換機 A（交換機番号を表示）の端末番号 B（端末番号を表示）が重複しています。
13	交換機 A の端末番号 B が桁数異常です。	交換機 A（交換機番号を表示）の端末番号 B（端末番号を表示）の桁数が間違っています。

No.	メッセージ	説 明
14	交換機 A の端末番号 B が範囲異常です。	交換機 A（交換機番号を表示）の端末番号 B（端末番号を表示）が、交換機の開始端末番号～次交換機の開始端末番号－1 の範囲にありません。
15	名称が間違っています。	名称の桁数が間違っています。または、英数カタカナではありません。
16	局線自動転送先が間違っています。	局線自動転送先の電話番号の桁数が間違っています。または、数値ではありません。
17	交換機一機器番号（A－B）の呼び出し先が間違っています。	マスターステーションの呼び出し先が間違っています。 ・ 交換機番号または、機器番号の範囲が間違っています。 ・ 無効なマスターステーションが設定されています。 A＝交換機番号 B＝マスターステーション機器番号
18	マスターステーション機器番号が間違っています。	マスターステーションの機器番号の範囲が間違っています。
19	無効マスターステーション機器番号（A－B）が設定されています。	無効なマスターステーションが設定されています。 A＝交換機番号 B＝マスターステーション機器番号
20	無効マスターステーション機器番号が設定されています。	無効なマスターステーションが設定されています。
21	サブステーション機器番号が間違っています。	サブステーションの機器番号の範囲が間違っています。
22	無効サブステーション機器番号（A－B）が設定されています。	無効なサブステーションが設定されています。 A＝交換機番号 B＝ステーション機器番号
23	無効サブステーション機器番号が設定されています。	無効なサブステーションが設定されています。
24	局線接続時間制限が間違っています。	局線接続時間制限の制限時間が間違っています。
25	発信特番が間違っています。	局線の発信特番の設定範囲が間違っています。
26	着信端末（A－B）が重複しています。	着信端末の設定で、交換機 A（交換機番号を表示）のマスターステーション機器番号 B（マスターステーション機器番号を表示）が重複しています。
27	代表が設定されていません。	着信端末の代表が設定されていません。
28	交換機一機器番号（A－B）が重複しています。	交換機 A（交換機番号を表示）の機器番号 B（機器番号を表示）が重複しています。
29	モニター時間が間違っています。	スキャンモニターのモニター時間の設定範囲が間違っています。
30	電話番号が間違っています。	電話番号の桁数が間違っています。または、数値ではありません。
31	パスワードが一致しません。	パスワードが間違っています。
32	古いパスワードが間違っています。	パスワード変更で、古いパスワードが間違っています。
33	新しいパスワードが一致しません。	パスワード変更で、新しいパスワードと確認用パスワードが一致しません。
34	登録されていません。	リモートダイヤルで、無効なマスターステーションが設定されています。
35	ダイヤルが間違っています。	ダイレクトセレクトダイヤルのダイヤルの桁数が間違っています。または、数値ではありません。
36	ゾーン桁数が間違っています。	ページングゾーン桁数の設定範囲が間違っています。

No.	メッセージ	説 明
37	ページング時間制限が間違っています。	ページング時間制限の制限時間が間違っています。
38	送信に失敗しました。	正常に送信ができませんでした。
39	デバイスのオープンに失敗しました。	デバイスのオープンができません。COMポートを確認してください。
40	受信タイムアウトになりました。	正常に受信ができませんでした。
41	履歴データ用ログファイルがオープン出来ません。	履歴データ用ログファイルのオープンができません。
42	通信モニター用ログファイルがオープン出来ません。	通信モニター用ログファイルのオープンができません。
43	履歴データ用ログファイルの書き込みに失敗しました。	履歴データ用ログファイルの書き込みができません。
44	通信モニター用ログファイルの書き込みに失敗しました。	通信モニター用ログファイルの書き込みができません。



TOA インフォメーションセンター

商品や技術など、お問い合わせにお応えします。
受付時間 9:00 ~ 17:00 (日曜・祝日除く)

フリーダイヤル(無料電話)
TEL. 0120 - 108 -117

〒665-0043 宝塚市高松町2番1号
TEL. (0797) 72-7567
FAX. (0797) 72-1090

商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、取扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。